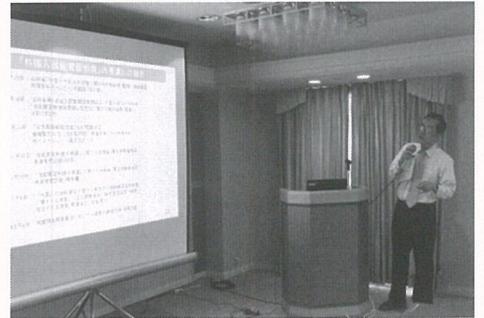


外国人技能実習制度適正化事業講習会を開催

「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律案」の改正が予定されるなか、外国人技能実習生共同受入事業を実施している京都府内の組合を対象に、平成27年10月5日(月) リーガロイヤルホテル京都において、「外国人技能実習制度適正化事業講習会」を開催した。

講師として全国中小企業団体中央会より労働政策部部長の西津康久氏を招いて、「外国人技能実習制度の現状と今後の対応について」と題して、「新法案は、しっかりとした管理運営ができていない監理団体には、実習期間の延長や受入れ人数の上限の見直しなど得られるメリットは多いが、不適切な運営をしている監理団体にとっては、非常に厳しい内容となっている。」旨の説明があった。また、今年度実施している外国人実習制度適正化事業の概要とともに、監理団体の制度運営の適正化を図るため、中央会と専門家とで巡回していくことが説明された。



組合等管理者講習会を開催

10月6日(火)、ANAクラウンプラザホテル京都において、組合等管理者講習会を開催した。

本講習会では、株式会社JTB西日本 国際旅行営業部長の山口浩史氏を講師に招き、『2000万人時代が目前に！インバウンド関連需要への挑戦』と題した講演を拝聴した。

山口氏は、訪日外国人旅行者数の推移と増加の背景、観光立国の実現に向けた政府の取組等について説明され、「日本の将来推計人口からみても今後日本は生産、消費人口が確実に減少する。人口が少ない時に経済の繁栄はない。その中で、期待されるのが訪日外国人の消費である。訪日外国人の消費は輸出と同じで、日本国内では数少ない成長マーケットである。」とインバウンドビジネスについて説明された。



また、「訪日外国人2000万人にはリピーターが増えてくる。観光地をまわった訪日外国人が次に求めるものは、日本人の楽しんでいることと同じことを楽しみたいと考えており、「旬(桜・紅葉・雪まつりなど)+体験+ショッピング」である。そば打ち体験や農業体験は人気がある。訪日外国人に何が評価されるのか、どこにチャンスがあるのか分からない。模索する上で留学生と意見交換をするのもよいと思う。」と結ばれた。

平成24年度ものづくり中小企業・小規模事業者施策開発等支援補助金 成果事例発表会を開催 ～みんなで共有するものづくり補助金の成果事例～

本会では、ものづくり中小企業・小規模事業者の競争力強化を支援し、ものづくり産業基盤の底上げを図るとともに、経済活性化を実現することを目的として行った平成24年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金の実施事業者における事業実施後の事業展開や活動・成果状況等についての成果事例発表会を10月21日(水)、ANAクラウンプラザホテル京都において開催、中小企業の経営者等約240名が参集した。

第1部の基調講演では、株式会社ユーシン精機の小谷眞由美代表取締役社長を講師に招き、「できない、無理だ、は出発点 ～多面的な見方とポジティブな思考から新しい技術は生まれる～」と題した講演を拝聴した。

第2部の事例発表では、株式会社坂製作所の坂栄孝代表取締役社長、二九精密機械工業株式会社の二九良三代表取締役社長より本事業における試作開発等の取組について発表が行われた。

第3部のシンポジウムでは、一般社団法人京都府中小企業診断協会の成岡秀夫常務理事がコーディネーターを務め、3社の経営戦略や事業展開、課題等について語られた。

